

ARCDRAW 2018 体験版 機能制限

ARCDRAW 2018 体験版（以下体験版）は、ARCDRAW 2018 製品版（以下製品版）とほぼ同等の機能を持ちますが、以下の機能制限があります。

1. ARCDRAW 図面の読み込み

体験版で出力された ARCDRAW 図面は、異なるプロダクト ID で使用されている体験版では読み込むことが出来ません。

また、体験版で出力された ARCDRAW 図面は、製品版では読み込むことが出来ません。

2. 図面の入出力制限

ARCDRAW 図面、および、他 CAD 図面の入出力の可/不可は下表の通りです。

図面種別	入力	出力
ARCDRAW 図面 (*.awx,*.awf)	○	○
ARCDRAW テンプレート (*.awt)	○	○
ARCDRAW XP 図面 (*.adf,*.adm)	○	×
ARCDRAW XP テンプレート (*.adt)	○	—
Tfas 図面 (*.tfx,*.tfs)	○	—
CAPE 図面 (*.dcc,*.dcm)	○	—
建築図面 (*.azf,*.dpp,*.dpm)	○	—
土木図面 (*.tfv,*.dvv,*.dvm)	○	—
DXF/DWG 図面 (*.dxf,*.dwg)	○	×
SXF 図面 (*.sfc, *.sfz, *.p21, *.p2z)	○	×
JW_CAD 図面 (*.jww,*.jwc)	○	×
PDF (*.pdf)	—	○

○ = 可

× = 不可（※ 製品版では使用できます。）

— = 機能なし（※ 製品版にも当該機能はありません。）

※ 図面一括変換機能は、出力先が ARCDRAW 図面 (*.awx,*.awf) のみとなります（図面検索コマンド内の図面一括変換機能も同様です）。

3. 部品ファイル

体験版で作成した部品ファイルは、製品版では読み込むことが出来ません。

また、製品版の部品ファイルに、体験版で部品の追加を行うと、部品ファイルが体験版部品ファイルに変換され、製品版では使用できなくなります。

部品として登録できる要素数は“1,000 要素”までです。制限を超えた場合はエラーが表示されます。

4. ユーザーハッチ

体験版で作成するユーザー定義のハッチパターンは、登録できる要素数は“10 要素”までです。制限を超えた場合はエラーが表示されます。

5. 作図要素数

図面内の作図要素数が上限を超えた場合は、それ以降、作図/編集系のコマンドを起動することが出来ません。上限は“50,000 要素”です。

6. 印刷処理

体験版から印刷された印刷結果には「体験版」表記と「プロダクト ID」が印字されます。印刷プレビューも同様です。

7. DWF

DWF の新規パブリッシュは使用できません。

マークアップセットでの DWF の再出力、出力設定は使用できません。

8. PDF

体験版から出力された PDF には「体験版」表記と「プロダクト ID」が追加されます。
